



〒297-0024 茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
第4号

その研究紀要、誰が何のために読むものですか？

2012年1月17日(火)発行

「研究紀要の読者は、たった二人。研究主任と書いた本人だけである。」

かつて教育界には、こんなことをささやく声がありました。現状はいかがでしょうか。今年度も残すところわずか。どの学校においても、一年間かけて積み重ねてきた研究を何らかの形でまとめる時期になっていることかと思えます。研究紀要であれ、実践報告集であれ、研究の足跡を何らかの形でまとめるからには、当然のことながら誰かに読まれるべきもの、活用されるものとなっているはずですが、「書いて終わり」という状況はなかなか改善されていないようです。

確かに、書くという行為は、自身の実践を振り返る場を提供しますし、それだけで十分価値があるとも言えます。けれども、校内で行っている研究のまとめというのは、私的な日記ではありません。せっかく貴重な時間を使って作成するまとめです。次年度の職員も含めた職員全体で共有し、明日の授業に活用できるようにしたいものです。



読みたくなる！研究紀要をつくるプチ・アイデア例

次年度の職員に向けて書く

特に今年度の小学校においては、新しい教科書教材を使っての授業研究も行われたことと思います。

次年度、同学年を担任する授業者にとって有益な情報になっているかという視点でまとめてみましょう。

指導案を載せるなら実際の時数を

指導案をそのまま綴じてまとめる学校も見受けられます。しかし、指導案はあくまでも計画です。実際には、計画よりも時間がかかってしまった場合もあるでしょう。そのズレの記録は、貴重な資料となります。

量的変容だけでなくエピソードを

アンケート等を実施して、児童生徒の変容を数値で表すことも結構ですが、授業者の実際の手応えや後日談、児童生徒の学びの姿をエピソードとしてまとめるという方法もあります。楽しみながら読めるまとめを！

★「遊・友スポーツランキングちば」中期大賞！

本県の児童生徒の体力向上と社会性の育成を目的として、7つの運動種目に取り組む「いきいきちばっ子コンテスト『遊・友スポーツランキングちば』」中期大賞の授与式が12月19日(月)に大網白里町立瑞穂小学校(徳武雅康校長 児童682人)で開催され、中岡靖教育次長が表彰を行いました(右写真)。



★管内の種目別ランキング第1位紹介★

1 みんなでリレー

【クラス】 小学校中学年の部：大網白里町立季美の森小学校4の1 (10秒30)
【グループ】 小学校高学年の部：大網白里町立季美の森小学校 ARANO (9秒64)

2 長縄8の字連続跳び

【クラス】 小学校中学年の部：山武市立山武西小学校4-1 (464回)
// 高学年の部：大網白里町立季美の森小学校6-1 (542回)
【グループ】 小学校低学年の部：芝山町立芝山小学校2-2A (349回)
// 中学年の部：大網白里町立季美の森小学校ポテポテポテチ (380回)
// 高学年の部：大網白里町立季美の森小学校はげMAX (553回)



中学・高校、特別支援学級の友達も、1位を目指して挑戦してみよう！

3 みんなで短縄跳び

【クラス】 小学校中学年の部：大網白里町立季美の森小学校4の1 (222.6回)
// 高学年の部：芝山町立芝山小学校6-1 (190.5回)
【グループ】 小学校高学年の部：大網白里町立瑞穂小学校ザ・チャンピオン (278.8回)

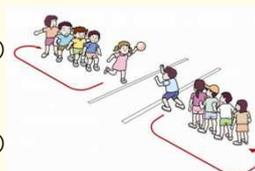


4 連続馬跳び

【グループ】 小学校中学年の部：大網白里町立瑞穂小学校チキンリトル2 (14秒03)
// 高学年の部：大網白里町立瑞穂小学校ザ・ラストタイム (12秒68)

5 ポールパスラリー

【7mグループ】 小学校高学年の部：大網白里町立季美の森小学校クラス (146回)
【10mグループ】 小学校高学年の部：大網白里町立瑞穂小学校オキャザワ8 (104回)



★ 教職たまごプロジェクト

このプロジェクトは、小学校及び特別支援学校の教員を志望する大学生を対象に、年間を通して実践研修を体験するものです。今年度は、管内121人分の受入体制を整えている中、66名が参加しました。

10月25日には、東上総教育事務所において地区別研修会が行われ、参加者の活発な情報交換や討議が行われました。どの学生も真剣な態度で、将来の教員を目指し、充実した研修を積みました。

体験したことを報告し合う学生達



未来の先生たち、
がんばって!



★ 小・中・高連携の特別授業

「小・中・高連携の特別授業」という事業は、児童生徒がさまざまな教科・科目への興味・関心を高め、創造的な能力を伸ばすために、県立高等学校の教員が近隣の小・中・高等学校で、得意とする分野の学習内容をわかりやすく指導するものです。今年度は例年よりもさらに多くの小中学校が活用し、昨年度比で15%増加して31回となりました。ここでは、本事業を活用された学校の声を紹介します。

一人一人に朱墨で指導をしてもらえるなど丁寧に教えてもらえました。先生の専門性が高く、わかりやすく説明してくれました。教師の書き初め指導の意識も高められました。

近隣の高等学校を中心に依頼したので、他の情報交換もでき、生徒にとっても進学先の高校を身近に感じられるようになりました。

思考力の育成に効果的な内容でした。数学の専門家ならではの教材だと思いました(5, 6年生算数)。

学校では簡単に準備できない器具や薬品等を使った実験をしてくださったので児童は大変興味を持ち、意欲的に学習に取り組むことができました。また、学年の学習内容の発展としてもよい内容だと思いました(4年生理科)。

教員も授業を通して長生・夷隅に残る戦争跡地について勉強させていただきました。

教師の方も指導方法を学ぶよい機会となりました。年に1回はお願いしたいところです。

東上総教育事務所では、授業を希望する小・中・高校と日程や内容等の調整を図って実施しています。登録している県立高校教員については、下記アドレスをクリック!



<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/kenkyuu/tokubetsujugyou/kyouin.html>

★ 管理課から 教員免許更新制について～お知らせとお願い～

(1) 気をつけていただきたいこと

- ①平成21年3月31日以前に免許状を所持していた方は、その後に新たな免許状を取得しても、全員が旧免許状保持者であること
- ②職員個々の更新期限日の確認を(本人・管理職共に)
 - ・年齢だけでは把握できません
 - 延期した方や新免許状保持者は個々に期限が異なるため
- ③申請手続きをして確認を受ける必要があること
 - ・管理職であること、優秀教員表彰を受けたことだけで免除になるわけではありません

(2) 更新講習の受講にあたって

- ①早めの申し込みを!
- ②受講する講習の種類に注意を!
- ③受講しただけでは、完了ではありません

【手続きの大まかな流れ】



余裕を持って申請を!

